

小樽南ロータリークラブ会報

よいことの
ために
手を取りあおう



2025-2026 年度 R I 第 2510 地区目標

- | | |
|-----------------|----------------|
| 1. 会員増強 | 5. 女性会員増強 |
| 2. クラブ活性化 | 6. 会員研修充実 |
| 3. 奉仕活動推進 | 7. 紛争予防と平和推進 |
| 4. 若い世代とのつながり強化 | 8. ロータリー財団活動強化 |

My Rotary
2510地区ホームページ
ICT委員会Facebook
各委員会へのメール



2025-2026年度 地区活動方針
Revival (リバイバル)
～原点に立ち返り、未来への繁栄へ～

- 例会場：オーセントホテル小樽 ● 例会日：毎週金曜日 12 時 30 分
- 事務局：〒047-0032 小樽市稲穂 2-15-1 (オーセントホテル内) TEL.0134-27-8123 FAX.0134-26-6935
- Club Homepage : URL <https://rid2510.org/otarusouth/>

1960年創立
昭和35年2月5日

2026年1月30日発行
通巻第3116号

19

- 今週
来週
再来週
- 1月30日 ● クラブアッセンブリー
 - 2月6日 (金) ● 休会
 - 2月7日 (土) ● 小樽市内高等学校優秀卒業生表彰式
 - 2月13日 ● 休会

令和8年新年例会

令和8年 新年例会

1月23日、オーセントホテル小樽11階にて「小樽南ロータリークラブ新年例会」が開催されました。新春の澄んだ空気の中、多くの会員が集い、新たな一年の歩みを共にする活気あるひとときとなりました。



■会長挨拶【佐藤友美会長】

皆様、あけましておめでとうございます。

今回は久しぶりの新年会ということで、記憶をたどってみましても、前回がいつだったかすぐには思い出せないほどでございます。

美味しいお食事とお酒をいただきながら、皆様との親睦を深めてまいりたいと思います。夜の会合であれば出席できるという方々もお越しくださっていますので、ぜひ皆様と親睦を深めていただければ幸いです。

どうぞ楽しい夜をお過ごしください。本日は誠にありがとうございました。

■年男卓話【水谷陽介会員】

皆様、新年あけましておめでとうございます。

本日は仕事の話や新年の抱負ではなく、祖母の法事でのお話させていただきます。

先日、99歳と8か月で大往生を遂げた祖母の三回忌が執り行われました。親戚一同、「あと少し頑張ってほしかった」と語り合いながら始まりを待っていたのですが、開始時刻になっても住職が現れません。最初は道路事情かと思っていましたが、30分経っても来られず、電話では「今向かっている」「あと30分ほしい」と説明が変わり、周囲はざわつきしました。結果的に、代理のお坊さ

んが到着し、多少の小言はありましたが、なんとか法事は無事に進みました。

ところが最後の説教で「諸行無常」の話があり、「住職も年齢とともに物忘れが増えてきて」と語られた瞬間、先ほどの出来事が頭をよぎり、何とも言えない気持ちになりました。

親戚一同がモヤモヤした空気に包まれる中、帰り際、月命日を欠かさず参っていた母が「今度からは、お盆だけで結構です」と一言伝えました。その姿を見て、私は「これもまた諸行無常だな」と感じました。

この出来事は、終わりや失望ではなく、関係や気持ち新たに移ろう瞬間だったのだと思います。予定通りに進まなかったからこそ、記憶に残る時間となり、後になって家族で何度も話題にできる出来事になりました。

厳かに偲ぶだけでなく、大遅刻事件をきっかけに皆で笑い合えたことで、家族の絆はかえって深まったと感じています。

私たち自身も日々変化しています。体調や考え方、立場が変わる中で、変化を恐れず、「これもまた諸行無常だな」と笑える余裕を持てたなら、人生は少し楽になるのではないのでしょうか。

なお、本日の話は札幌のお寺での出来事であり、小樽のお寺とは一切関係ございません。小樽のお寺様は大変徳の高い方々ばかりと伺っておりますのでご安心ください。

最後に、祖母への感謝とこのような時間をくださった皆様、そして話題を提供してくださったお坊さんにも感謝を申し上げます。昼の例会に参加できず申し訳ありませんが、夜の例会にはできるだけ参加いたします。

ご清聴ありがとうございました。

令和8年 新年例会



■ロータリー・テーブル対抗クイズ大会

今回の余興は会員親睦委員会の田中彰一委員長が企画した「ロータリー・テーブル対抗クイズ大会」。

ロータリアンとしての知識が試される問題から、思わず頭を悩ませる難問まで、各テーブルでは活発な議論と笑いが飛び交いました。

成績順に贈られた賞品を手に参加者一同、終始大盛り上がりとなりました。

■さらなる飛躍を願って

宴の締めくくりには、廣瀬会員が登壇。「これほど充実した楽しい例会だからこそ、ぜひもっと多くの会員に参加していただき、この喜びを共有したい」という熱い想いととも、新年を祝う言葉が述べられました。最後は伝統の一発締めで、令和8年の更なる飛躍を誓い、閉会となりました。



■余韻冷めやらぬ夜

閉会後も、多くの会員が例会の熱気そのままに小樽の夜の街、花園へと繰り出し親睦の続きを楽しまれたようです。